



～(社福)横浜訓盲院障害児入所施設の子どもたちと共に～

アリス・チャリティの会
No.13
2014.8.25
045-314-1241

第5回チャリティ・コンサートのご案内

残暑の続く毎日ですが、皆さま お変わりなくお過ごしでしょうか？
いつも私共の活動に優しい気持ちをお寄せいただき深く感謝申し上げます。
皆様からの温かい励ましを支えに、第5回チャリティ・コンサートを開催する運びとなりましたのでチラシの送付と共にご案内申し上げます。

今回は、ゴスペルのコーラスグループ“voice of love”と横浜訓盲院障害児施設で暮らす古西夜香君(19歳、全盲、車椅子)のピアノ演奏とのセッションを中心にコンサートを企画しています。夜香君の夢は“音楽の先生になる”ことです。夜香君の夢は同じ施設で暮らす子ども達の夢でもあります。才能や能力を育てる機会を与えられていない子供たちにとって、夜香君が自分の好きな音楽でスポットを浴び夢へと前進する姿は、自分たちの夢であり希望そのものです。やがては施設を出なくてはいけない子供たちの自立に向けての足掛かりになってくれることを願っています。
同じく横浜訓盲院の施設で暮らす河合祐美稼さん(全盲)の弾き語りもコンサートではお馴染みになってきました。祐美稼さんの澄んだ歌声のファンも増えています。
また、アリスの卒業生でバイオリニストの末廣紗弓さんにもご協力いただいています。
秋へと季節が移りゆく日曜の昼下がりに心の琴線に触れる音楽でお楽しみ頂ければと思います。

コンサートのチケット代は全て、横浜訓盲院障害児入所施設で暮らす子どもたちに寄付されます。一人でも多くの方にご参加頂けますようお願い申し上げます。

アリス・チャリティの会
代表 松野朝子



voice of love <代表 高山郁子>

結成 10年、ゴスペルソングを中心に独自のアレンジでステージを展開！

高山郁子



静岡県浜松市出身。東京在住。
3歳よりピアノを始める。中学からバンド活動を始め、女性ドラマーとして数々の賞を受賞。
武蔵野音楽大学打楽器科マリンバ専攻。
在学中にjazzに目覚めビブラホーンとvocalを始める。
大学卒業後ボストンのパークリー音楽学院でjazzを学ぶ。ゲリーバートン氏に師事。
現在、カフェコン、障害者と音楽を楽しむ会所属、浜松芸術家協会に所属、器楽指導、ピアノ教師、スタジオミュージシャン、作詞・作曲・編曲の活動をしている。
小学生と中学生の男児の母親。



末廣紗弓

1993年東京都出身。
4歳よりヴァイオリンを始める。第21回日本クラシック音楽コンクール入選。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール 2013にて特別賞受賞。
2012年第33回草津夏期国際音楽アカデミーに参加し、サシコ ガプリロフ氏に師事。成績優秀者によるガラコンサートに出演。桐朋女子高等学校音楽科を経て、現在桐朋学園大学音楽学部3年在籍。
ヴァイオリンを水野佐知香、加藤知子の各氏に師事。室内楽を毛利伯郎、藤原浜雄、銅銀久弥、加藤知子の各氏に師事。



古西夜香
(全盲・車椅子)



河合祐美稼
(全盲)

二人共幼い頃に保護され、以降横浜訓盲院入所施設で暮らす